

心と心をつなぐ植草学園広報誌

U^{heart}



【特集】

実習

東日本大震災
被災地における
ボランティア活動報告

東北6県・新潟・長野の
出身学生に聞いてみました。

UEKUSA School News
教授・講師陣紹介／先生の著書紹介
[連載] 漢字の今昔
UEKUSA LIFE ～学生生活の紹介!～
Information
～平成22年度決算の概要～
～ご寄付のお礼～

Vol. 07
2011
November

「声かけ」を実践で学ぶ
実習が始まった当初は、介助を早く行わなければ、と焦ってしまうことが多かったのですが、介助をする連の動作を頭の中でイメージすることで、焦らずに落ち着いてできるということがわかりました。また、学内での演習や実習で「声かけは大切なこと」ということを学びましたが、今回の実習で更に「利用者さんの気持ちを動かせる声かけ」について学びました。私は実習で学んだことを生かして、利用者さんの気持ちに寄り添い、思いに応えられる介護福祉士になりたいと思います。

植草学園短期大学 福祉学科
地域介護福祉専攻 2年
佐々木 秋美
千葉県立船橋旭高等学校出身



介護老人保健施設



変化する状況への対応
実習は利用者さんと関わることで日々変化があります。状況を把握しなければ、一人ひとりにあった介護を行うことができません。これから何をするのかということを経験して、チャートしたり、その物を見せて理解していただくことや、一つひとつ細かく説明をして、その方にあつたわかりやすい声かけに心がけたいと思いました。また、利用者さんに危険がおよばないように、視野を広くすることも大切だと学びました。実習で学んだことを繰り返し実践して、介護技術を身につけていきたいです。

植草学園短期大学 福祉学科
地域介護福祉専攻 2年
松本 美穂
千葉県立八千代東高等学校出身

実習施設から一言

人に好奇心をもつことから始めよう
私がよく実習生に言うのは「相手の気持ちに立ってみよう」ということです。個人的な意見ですが、技術は後からついてくるものなので、それよりの仕事に大切なのは相手に対する気もちがあることだと思います。たとえば、利用者さんが恥ずかしいと思ったり、それに気がついて配慮してあげられること。寂しいと思っていたら、気もちを汲んであげられることです。
ですから学生のみなさんには、学業はもちろん重要ですが、相手の気もちに気がつける能力を磨いて欲しいですね。そのためには、まずいろいろなことに好奇心をもつことだと思います。実習の時だけではなくて、日常生活でいろいろなことに好奇心をもつことが大切です。特に人の好奇心ですね。介護の仕事というのは、人の好奇心から始まると思います。あの時に相手はどう思っていたのか。そう考えることが、相手の気もちを察することに繋がります。
植草の学生さんは、しっかりしている人が多いと思います。それに笑顔が多いところが多いですね。介護の仕事はたいへんな面もありますが、人に密接に関われるやりがいのある仕事です。ぜひめざしていただきたいと思っています。

財団法人復光会
介護老人保健施設 やすらぎ
穂葉 秀文氏



【特集】

実習

本学では資格・免許取得のために、学外のさまざまな施設で実習を行います。講義で学んだ知識や、学内で実習した技術を、実際の現場において実践し、必要とされる専門的な技能や知識、さらに問題解決能力を身につけます。また、職業人としての責任感や自覚を培うとともに、自己を磨く絶好の機会にもなっています。実習を通して学んだことや身についたこと、感じたことを学生に聞いてみました。





植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科 3年
高山 桃子
千葉県立九十九里高等学校出身

特別支援学校

教育実習は最後の職業選択の場
子どもたちや先生方に支えられて過ごした教育実習は、私にとって一生忘れることのできない大切な思い出になりました。

私が体験した小学校、特別支援学校での実習はともに1ヶ月未満の短いものでした。しかし、実際に現場で子どもたちと過ごし、先生方の姿を見ることが、机上では学ぶことのできない多くのことを学ぶことができました。

実習中は、子どもたちと先生方の関係に憧れたり、子どもたちの成長の早さに驚き感動するとともに、教科書通りにはいかない現状や、自分が想像もしなかった子どもの反応に戸惑ったり、自分の力不足を感じ苦しくなったり、自信をなくすこともありました。

しかし、その中で教師は教える側でありながら、子どもたちに教えられることが多いことや、子どもたちの笑顔を見ると、自分自身も自然に笑顔になり、前向きになれることを、実習を通して強く感じました。

教育実習の事前指導の際に、発達教育学部の野口先生が「教育実習とは最後の職業選択の場である」とおっしゃっていました。私は、実習を体験することで身をもって、野口先生の言葉の意味を理解することができました。そして改めて教師になりたいと強く決意することができました。

実習施設から一言

コミュニケーションと創造力を鍛えよう
植草学園の学生さんは、まじめで素直という印象があります。特別支援学校の先生になりたいという気持ちを強くもって実習に来ていただいていると思います。教職をめざす人は、教育実習だけでなく、「ちはプロジェクト」なども利用して、どんどん現場に入って経験を積んでもらいたいです。なるべく早く子どもたちと関わりたいことで、大学の学習意欲も湧いてくるはずです。

さらに、自分が本当に教職に向いているのか判断するためにも、現場での経験が必要だと思います。たとえば特別支援学校の場合、一人の担任教員が一つのクラスを見るということとは全くありません。子どもの障害の重さによって人数は違いますが、複数の担任で一つのクラス見るようになります。ですから教員としてのコミュニケーションがとても大事になります。自分の意見が言えて、他の教員の意見も聞けて、協力してやってくれる人でなければ動きません。

また、特別支援学校の教員には、それぞれの子どもの必要としている教育方法を、自ら工夫して創り出していく力も求められます。学生のみなさんには、学業は当然として、「コミュニケーションと創造力も鍛えていただきたいです。」



千葉県立
袖ヶ浦特別支援学校 校長
今別府 敏先生

*「ちは!教職たまごプロジェクト」とは、千葉県教育委員会と千葉市教育委員会が連携して行っているプロジェクト。教員を志望する学生を対象に、千葉県内の市町村立小学校と、千葉県立及び千葉市立特別支援学校において、実践研修の機会を提供するもの。



楽しむ気持ちが大切
初めての施設実習で、利用者さんどのように関われれば良いのかと不安がありました。が、職員の方にアドバイスをいただき、「自分自身も楽しむ」という気持ちで実習に臨みました。誰よりも自分自身が楽しみながら声をかけたりすることで、利用者さんにも変化があり、私の目を見られるようになりました。利用者さんと実際に関わることで、教科書を読んでも分からなかった疑問が解決したり、今までできなかったことができた時の喜びを感じることができました。

植草学園短期大学 福祉学科
児童障害福祉専攻 2年
知脇 有里
千葉県船橋市立船橋高等学校出身

知的障害者更生施設



経験が自信になります
私の幼い頃からの夢は幼稚園教諭になることです。実習は想像していたよりも大変で、特に毎日記す記録簿は深夜遅くまでかかり苦勞していました。しかし、実際に現場に立つことで、机上で勉強するだけでは学ぶことができないことを得ることができました。

施設実習では、障害がある方と関わりました。将来自分が保育の現場に出て、障害がある子どもと関わる際、「障害のある方と関わったことがある」という経験のおかげで自信が生まれ、障害のある子どもと積極的に関わることをできると思います。

植草学園短期大学 福祉学科
児童障害福祉専攻 2年
衛藤 瑞紀
千葉県立佐倉東高等学校出身

実習施設から一言

人とひとの関わりを大切に
実習に来た学生さんに望むことは、せっかく現場へ来たのだから、実際に現場で行われている仕事の意味を、自分から質問して学んでいただきたいということです。たとえば、「どうしてこの作業をこの利用者さんにやらせてもらっているのですか」と、積極的に職員に聞いて欲しいです。でい・さくさへの職員は、自分がやっている仕事の意味を説明できるようにしています。説明ができないようでは利用者さんやその家族に、納得して安心して利用していただくことができませんからね。

この施設にはいろいろな学校から就職希望者や実習生が来ますが、思考が堅く固定観念にとらわれた人がだんだん多くなっているように感じます。一例を挙げれば福祉施設の利用者さんを、福祉サービスを受ける対象者という固定した枠にはめている人が多い。そうではなくて、利用者さんを入りひとりと捉えていくことが必要なんです。人と人の関わりを大切にしてください。

植草の学生さんは、考えたり悩んだりして、突き詰めていくタイプが多いように感じます。ですからそういった面を生かして、学生時代にいろいろなものを見て、たくさんの人と出会って関わって、考えて悩んで、視野を広げていただければ良いのではないかと思います。



社会福祉法人
千葉市手をつなぐ育成会
でい・さくさへ
久保田 尚史氏

実習の科目名と実施年次

大学 発達教育学部 発達支援教育学科	科目名	年次等
①小学校教諭免許状取得のための実習	小学校教諭実習I(主専攻用)	3年次6月上旬(4週間)
	小学校教諭実習II(副専攻用)	4年次10月中旬(2週間)
	介護等体験	2年次(7日間)
②特別支援学校教諭免許状取得のための実習	特別支援教育実習	3年次9月上旬(3週間)
	幼稚園教育実習I-前期(主専攻用)	3年次6月中旬(1週間)
	幼稚園教育実習I-後期(主専攻用)	3年次11月上旬(3週間)
③幼稚園教諭免許状取得のための実習	幼稚園教育実習II(副専攻用)	4年次11月上旬(2週間)
	保育実習I(保育所)	2年次2月上旬(10日間)
	保育実習I(施設)	3年次7月初旬(10日間)
④保育士資格取得のための実習	保育実習II(保育所)	3年次9月下旬(10日間)
	保育実習III(施設)	3年次9月下旬(10日間)

大学 保健医療学部 理学療法学科	年次等
基礎理学療法学見学実習	1年次9月初旬(1週間)
地域理学療法学実習	3年次前期(1週間)
理学療法評価学臨床実習	3年次後期(4週間)
総合臨床実習I	4年次前後期を通じて(8週間)
総合臨床実習II	4年次前後期を通じて(8週間)



短大 福祉学科 地域介護福祉専攻	年次等
介護実習I	1年次8月(5日間)
介護実習II	1年次2月(9日間)
介護実習III	2年次9月(13日間)
介護実習IV	2年次10月(20日間)
児童福祉施設(見学)実習	1年次8月(1日)
居宅介護実習	※2年次(2日間)

※介護実習III・介護実習IVのいずれかで実施

短大 福祉学科 児童障害福祉専攻	年次等
教育実習I(参観実習)	1年次7月~10月にかけて3回(3日間)
保育実習I(保育所・園)	1年次11月下旬(2週間)
教育実習III(特別支援学校・学級)	1年次1月下旬(1週間)
※保育実習II(保育所・園)・保育実習III(施設)	2年次5月中旬(2週間)
教育実習II(幼稚園)	2年次6月中旬(3週間)
保育実習I(施設)	2年次9月(2週間)
特別支援教育実習	2年次10月(2週間)

※いずれかを選択



病院

植草学園大学 保健医療学部
理学療法学科 4年
前谷 祐亮
千葉県私立志学館高等部出身



実習でたくさんの新しい発見

今回の実習で一番学んだことは、患者さんのQOL(生活の質)の向上をめざした理学療法的重要性です。患者さんのQOLの向上をめざしたアプローチをすることの難しさに苦労しましたが、先生方の助言やディスカッションなどを交えて解決することができました。

臨床実習で実際の患者さんと接することで、大学ではなかなか理解できなかったことも分かるようになり、新しい発見もたくさんありました。大学での勉強も重要ですが、臨床実習で得られることの方が多いいと思います。

今回で実習は全て終了しましたが、今後も理学療法士をめざして、日々勉強し続けたいと思います。

実習施設から一言

熱意をもつ何事にも積極的に取り組む

並木 智志先生
医療法人社団 錦昌会
千葉こどもととなの整形外科

錦昌会は、プライマリケア(初期診療)中心の、ちほら台整形外科、小児領域から対応できる千葉こどもととなの整形外科、そして手術が可能な新病院があり、連携して地域に密着した医療を行っています。

私の所属する千葉こどもととなの整形外科は、小児疾患(脳性麻痺、骨形成不全、スポーツ障害など)が多いのが特徴です。理学療法士は9名在籍、整形外科リハビリテーション学会千葉支部や保健医療科学研究会などに所属して、勉強会も頻繁に行っています。

理学療法士をめざす学生さんに期待することは、患者さんに対する熱意とモティベーション、これらを支える体力をしっかりとつこと。理学療法士が年間約1万人輩出される時代を向かえ、医療福祉の世界に生きるゼンゼンには、やや厳しい状況になりつつあります。しかし、患者さんのQOL向上に寄与する能力をつけていけば、社会から必要とされる理学療法士になれると思います。

実習では知識や技術も必要ですが、それだけでは患者さんを満足させられません。熱意をもつ患者さんに接し、積極的に取り組むことが重要です。短期間の実習ですが、なるべく多くの患者さんを診ることで、現場でしか学べないモノを得ていただきたいです。



被

災地を最初に見た時は、この場所に人が住んでいたのかと疑うような光景でした。作業中に写真などが出てきた時、ここに写っている方たちは大丈夫だったのだろうか、と不安に思いを馳せました。同時にこの病院だけでなく、津波や震災で命を落とされた方のために、そしてこれから南三陸町で生きて行かれる方たちのために、私たちができることを精一杯やろうと思いました。実際にボランティアを経験し、被災地の現状を知ることができました。この経験や思いを今後役に立てて行きたいと思っています。



植草学園短期大学 福祉学科
児童障害福祉専攻 1年
加曾利 衣里
千葉県立大多喜高等学校出身

◎ボランティア活動日程

8/2(火) 1日目 結団式後、現地へ移動
(10:00 本学出発～夕方 18:00 宿泊先到着)

8/3(水) 2日目 ボランティア活動日 (9:00～16:00)

8/4(木) 3日目 ボランティア活動日 (9:00～16:00)
活動終了後、入浴施設にて入浴、夕食、休憩
22:00 現地出発 (車中泊)

8/5(金) 4日目 早朝5:00 本学到着

●活動場所/宮城県南三陸町災害ボランティアセンター
●活動内容/公立志津川病院にて泥のかき出し、瓦礫の撤去や分別、荷物の運び出しなど
(医療器具や個人情報に関するものも含む)



植草学園は東日本大震災の復興を
“できることから”支援いたします
**がんばろう
日本!**



植草学園短期大学 福祉学科
児童障害福祉専攻 2年
香川 知美
千葉県立市原八幡高等学校出身

ここで自分は何かができるのだろうか。自然の脅威を前に無力感に苛まれました。しかし、小さなことかもしれないが、できることをしよう、少しでも力になるろう、そう思うことで自身を奮い立たせました。被災された方々のお気もちをはかり知ることや、ましてや同じ感情に至ることではできませんが、被災地を訪れ、自身の考えを見つめ直し、何かが芽生えた気がします。

ぜひ、みなさんも現地に行き、今何が起きているのか、自分の目で確かめて欲しいと思います。そして、自分なりのできるところをみつけ、力を合わせ、継続的に支援を行う、いつまでもこの震災を風化させないことが一番の支援であると思います。

院のエレベーターは大破し、建物の上に車や船が乗っかっていて、津波の恐ろしさを感じました。分別作業を行っているガラス、壁、貝殻、瓦、医療器具、写真など、さまざまな物が出てきました。その中に園児のバックや製作品やぬいぐるみを見つけました。保育・幼児教育について学んでいる者として胸が苦しくなりました。

ボランティアセンターの方々は、私たち一人ひとりにやさしく話しかけてくださり、とても親切にしてくださいました。

今回の活動を通して、「遠くの場所でするきたことだから」「もう何ヶ月も経ったし」などと思ってしまうのではないかと思います。少しずつでもできることを続ける、何よりも復興を祈る気もちを忘れてはいけないと思います。

こ

ここで自分は何かができるのだろうか。自然の脅威を前に無力感に苛まれました。しかし、小さなことかもしれないが、できることをしよう、少しでも力になるろう、そう思うことで自身を奮い立たせました。被災された方々のお気もちをはかり知ることや、ましてや同じ感情に至ることではできませんが、被災地を訪れ、自身の考えを見つめ直し、何かが芽生えた気がします。

ぜひ、みなさんも現地に行き、今何が起きているのか、自分の目で確かめて欲しいと思います。そして、自分なりのできるところをみつけ、力を合わせ、継続的に支援を行う、いつまでもこの震災を風化させないことが一番の支援であると思います。



植草学園短期大学 福祉学科
地域介護福祉専攻 1年
小川 智裕
千葉県立泉高等学校出身

震災 東日本大 被災地における ボランティア 活動報告

テ

テレビで見ていた光景が目の前に広がるやりました。言葉にならず、ただただ唾然としました。病院の4階の高さまで押し寄せた津波の爪跡を目の当たりにし、その想像を超える高さ、被災された方々の恐怖感などを慮り、作業中もいろいろなことを考えました。現地で活動しているスタッフの方が、地方から来て長期間活動を続けているのを知り、人のあたたかさを感じました。また、宿泊したホテルの従業員の方の明るさで、逆に私たちが元気をいただきました。



植草学園短期大学 福祉学科
児童障害福祉専攻 2年
堂下 明菜
千葉県立木更津東高等学校出身

ボ

ボランティアをするという思いではなく、させていだけ、少しでも力になりたいという気もちで精一杯行きました。ボランティアセンターの方に「ご苦労さまでした。ありがとうございます」とおっしゃっていただき、涙が出そうになりました。

被災地で感じたこと、全てを言葉では表せません。感じたこと、目に見た光景、におい、全てを忘れずにいたいです。千葉という離れた場所でもできることはあると思います。復興には人の力、人の支えが必要です。被災された方々の気もちに寄り添いながら、今後も少しでも力になって行きたいと思います。



植草学園短期大学 福祉学科
児童障害福祉専攻 2年
依田 栞
千葉県立八千代松陰高等学校出身

震

災から5ヶ月が経っても屋上に取り残されたままの車、手つかずの瓦礫やタイヤの山がいたるところにある町の様子を見て、震災直後ほどのような状況だったのか、また、ここで暮らしていた方々はどれほどのショックを受けたのか、その気もちを想像することすらできませんでした。

ボランティアセンターで、食事などの配給品を受け取りに来ていた方々が、お互いに近況報告をしたり、現状をより良くするために今できることを話し合っている姿に出会いました。その前向きな姿勢を見て、私も今できることを少しでもやっつけていきたいと思います。



植草学園大学 保健医療学部
理学療法学科 3年
佐久間 大我
埼玉県立本庄東高等学校出身



植草学園短期大学
学長 中坪 晃一

この支援活動を次につなげたい

2011年3月11日の東日本大震災発生以来、本学では「できることから」を合い言葉に、被災者・被災地への支援活動を展開してきました。その中で実現したのが、宮城県南三陸町におけるボランティア活動です。取り組みにあたって、大学・短大の学生委員会が連携して震災ボランティアのワーキンググループを設け、具体化を図り実現に至りました。

しかし、参加希望者が多く、参加できない学生・教職員がいたことに苦慮しました。宿舍の確保との関係でやむを得ないことでしたが、気もちのある人が大勢いたということでもありません。また、計画が固まっても、ボランティア先が直前まで決まりませんでした。一方で、宿舍の確保をしなければならぬなど、多人数を送り出すことの難しさを感じました。幸い南三陸町のボランティアセンターで受け入れていただき、ほっとしました。

現地でのボランティア活動は、72人がおおくになりましたという公立志津川病院の瓦礫や散乱物の片付けでした。献花台で黙祷してからの作業、それぞれに突き動かされるものがあつたのでしよう。一心不乱に黙々と取り組みながら。私も邪魔にならないよう老体にむち打ちながら共に作業をさせていただきました。

2日間の小さな小さなお手伝いでした。しかし、継続的に取り組むさまざまな方たちとの力が重ね合つて、大きな力になることを信じていると思います。そして、現地で復興するまで、思いをもち続け、忘れないようにしたいと強く思いました。「2発の花火」としなないように、次につながる活動の具体化に向けて、努力を傾けたいと思います。息の長い支援につながることを願っています。

震災ボランティアの実現は、南三陸町ボランティアセンターや本学からの物心両面の下支えがあつたことです。こうした下支えも、本学の震災支援対応で

継続的に取り組むさまざまな方たちとの力が重ね合つて、大きな力になることを信じていると思います。そして、現地で復興するまで、思いをもち続け、忘れないようにしたいと強く思いました。「2発の花火」としなないように、次につながる活動の具体化に向けて、努力を傾けたいと思います。息の長い支援につながることを願っています。



植草学園短期大学
学生委員長
福祉学科
児童障害福祉専攻
准教授 松原 敬子

将来に生きる貴重な体験

この度の東日本大震災を受け、植草学園では学園をあげて震災支援の取り組みを行ってきました。過日、短期大学で開催された「交流行事」においても、震災支援をテーマに、義援物資の収集・送付や震災時の体験等を行いました。引き続き、募金や被災地学生支援等の活動を継続的に実施していますが、さらに、学生・教職員から「現地でより積極的に震災支援に貢献したい」という声があがりました。そこで、学園の支援を得て、被害が甚大な宮城県南三陸町でのボランティアを実施する運びとなりました。

8月2日(火) 結団式では、「被災地の方の気もちに寄り添い、そこで暮らす方々にとって大切な生活の場とすることを忘れずに、そして自分自身を「コントロールし、健康管理に注意すること」などの心構えや諸注意を受け、学生代表の力強い宣誓の後、教職員や友達が見送る中、学生40名と教員6名が宮城県南三陸町災害ボランティアセンターをめざし出発しました。南三陸町では、テレビ画面に映し出された光景といまだに全く同じでした。ボランティアの活動内容は、公立志津川病院にて2日間、瓦礫の撤去や分別でした。志津川病院では、72名の方がお亡くなりになられており、入り口には簡単な祭壇が設置され出入りの際には、常に黙祷を捧げ活動場所に移動しました。瓦礫の撤去や分別、個人情報収集や思い出探しの活動では、学生たちがひたむきに黙々と作業に当たりました。この貴重な体験は、学生たちの心に刻まれ、各々の専門の中に必ずや生かされていくことでしょう。

東北6県・新潟・長野の 出身学生に 聞いてみました。

プラス

植草学園には全国からたくさんの学生が集まっています。同じ出身地の学生は「郷土愛」が引きつけ合うのか、入学直後から、大学短大、学部専攻、学年の垣根を跳び越えて、活発に交流を行なっています。今回は、東北・新潟・長野出身の学生に、地元の良いところや、植草学園に入学した理由、それに「地元で、東日本大震災で被災された方々へのメッセージ」など、生の声を聞いてみました。

- ※学生の答えは下記の質問に対するものです
- 植草学園大学・短期大学へ入学を決めた理由は？
 - 親元を離れ一人暮らしをして、あなた自身変わったことは？
 - 地元を離れてみて思う、地元の良さは？
 - 千葉の良いところは？
 - 東日本大震災で被災された方々への一言応援メッセージを地元の言葉で

NAGANO

植草でしか自分の学びたいことが学べないと思ったから

金銭感覚が変わり、小さなもの1つ買うのも考えてお金を大事に使うようになった。

料理のレパートリーが若干増えた！

親は偉大！

NIIGATA

新潟は自然豊かで近所つきあいが深い。

光熱費を抑えるため、節約に心がけています。

新潟って時間の流れをゆっくりと感じることができて、落ち着けるところです。

親は偉大！

新設の大学でとにかくきれいだったから

虫退治や勧誘の対応の仕方に強くなりました

【新潟名物】柿の種、のっぺ汁、出陣餅、笹団子、近所のおじさんが山で狩ってきた熊の肉を入れた熊汁！

YAMANASHI

離れてみて一層自然の豊かさや空気のきれいさ、水のおいしさに気がきました。

【長野名物】信州そば、ローメン、五平もち、おやき、野沢菜

OCに参加して、先生と大学の雰囲気が良かった！

【山形名物】酒、さくらんぼ、だだちや豆、おしどりミルクケーキ、いも煮、平田牧場の三元豚

山形みたいに雪が降らないから冬でも自転車に乗れるよ

地震きてくたびだとおもっけど、がんばっていくべ！！

千葉には山形にないお店がいっぱいある！

千葉は交通手段が多く、どこにも簡単に行かれる

YAMAGATA

親に反抗ばかりしていたけど、今は感謝している。家族は良き相談相手です。

【秋田名物】きりたんぼ、横手やきそばが定番ですが、ハワイヘアアイス1度は食べて欲しい(笑)

秋田にいた時は「田舎はイヤ」と思ってたけど、今は「いつか戻りたい」って思ってる。

初めてモノレールに乗ったときは感激しました！！

千葉は意外と田舎で住みやすい

AKITA

カリキュラムがしっかりしていて、学習するうえで環境が整っていると感じて入学を決めました。

AOMORI

千葉は交通の便がイイ！電車の本数が多い。逃しても困らない！

一人暮らしをして親のありがたみを実感し、素直に感謝できるようになった

【青森名物】あんバター(吉田ベーカリー)は絶品、いかまんじゅう、せんべい汁、スタミナ源たれ

田舎は空氣がきれいで、落ち着く

千葉は意外と田舎で住みやすい

まだまだ、へずねえどもあるばってまんつ、みんなで頑張るべし

MIYAGI

【岩手名物】かもめの玉子、がんづき、盛岡冷麺、じゃじゃ麺

千葉は都会すぎないし、みんなやさしい

ディズニーランド&シーが近いのがいい！！

IWATE

田舎は空氣がきれいで、落ち着く

FUKUSHIMA

終電が19:33!! じゃないところ(笑)

金銭面の自己管理ができるようになりました。

【福島名物】ままだおる、いかにんじん、こづゆ、喜多方ラーメン

専門知識をもった素晴らしい先生がたくさんいたから

福島県は星がとっても綺麗です

日本全国から多くの学生が集まっています！

【志願者数ランキング】

1位 千葉県	6位 埼玉県
2位 東京都	7位 長野県
3位 茨城県	8位 栃木県
4位 福島県	9位 神奈川県
5位 新潟県	10位 山形県

※過去4年分 大学・短大 都道府県別志願者数より

植草学園大学 植草はここ！
植草学園短期大学





楽しそうだね「仲間に入れて!」

「第40回運動会」開催!

子どもたちの元気いっぱいの
笑顔が会場に広がりました。



芸術の秋です

植草学園大学
附属弁天幼稚園
より

10月1日(土)に植草学園記念館で「第40回運動会」を行いました。一緒に練習してきた保育園のグループ組(年中長短)も加わり、会場いっぱい家族や卒園児たちの応援、大学生・短大生の協力のおかげで充実した時を過ごすことができました。園児たちのいきいきとした表情や元気いっぱい姿を見て、会場の誰もがいろいろなパワーをもたらすように思います。

また、園児たちにとっては、友達や家族、先生たちと一緒にうれしさや悔しさを味わい、一人ひとりの力を出し合って協力して作り上げた競ったことは、これからの成長過程で大きく影響していくことと思います。今でも遊びのなかでリレーや他クラスのダンスをしたりと、余韻を味わっている姿が見られます。学年の小さい園児たちは、「大きくなったらあんなことができるようになるんだね」「あんな風になりたい」等々あこがれの気もちを抱き、年長児はその手本となるように自覚をもって生活していくようになりま。実りの秋にふさわしく、子どもたちが成長していく

に続き、吹奏楽部によるハンドベル演奏では美しい音色が体育館中に響きわたりました。なかでも、福島への復興の気もちを込めて演奏した「ふるさと」では目を押さえる保護者もおり、演奏後は体育館内が静寂に一つまれました。福島のある保護者から「この子どものために、1日も早く福島に戻り、復旧・復興に努めたい」との言葉が聞こえてきました。

このあと、吹奏楽部のデイズ・ニーメドレーなどの楽しい演奏が続きました。また人気アイドルグループのヒット曲の演奏に合わせてバトントワリング部が踊るとい場面もあり、子どもたちは手拍子をしながら発表会を楽しんでいました。

最後に、転入してきた5年生の児童から「私たちのために楽しい演奏を聞いてくれてありがとうございます。弁天小学校にいた思い出として一生忘れません」とお礼の挨拶をいただきました。

また、当日は弁天小学校の児童会と本校の



運動会「パラバルーン」

時期です。
そんな秋空の下、日々の遊びの中でも変化が見られます。友達関係が広がったこと、自分の意志をいろいろな形で表現するようになってきていることなど、いろいろな場面がみられます。保育者からも「室内遊びが多かったのに、園庭で友達と一緒に鬼ごっこやゲームをする姿が多くなった」「自分から話しかけ、気もちを伝えることができようになった」などの声が聞かれるようになりました。このようないろいろな力を上手にまとめ、引き出すことが私たち保育者の役割です。

3クラスしかない小さな幼稚園ですが、その利点を活かして今日もいろいろな遊びや活動が展開されています。



【被災児童を励ます会】
吹奏楽部とバトントワリング部のコラボレーション



【被災児童を励ます会】
ハンドベルで「ふるさと」を演奏

植草学園大学附属高等学校
より

このたびの東日本大震災は未曾有の被害をもたらしました。それに伴う福島原発の事故も深刻で、被災地支援のために、本校では義援金募集の呼びかけやチャリティイベント等を開催しました。

本校近くの千葉市立弁天小学校には避難児童13人が転入してきました。弁天小学校の児童や保護者たちが13人を温かく迎え入れ、仲良くしているということを知った本校は、吹奏楽部とバトントワリング部のコラボレーションで「がんばろう日本」仲良し弁天小の子どもたちへ」の演奏会を復興支援の一環として行いました。

4月23日(土)、弁天小学校の全児童200人に向けて、「みんながもつと仲良くなってがんばれるように応援に来ました」と尾竹春花さん(3年バトントワリング部)の挨拶から演奏会が始まりました。

躍動感あふれるバトントワリング部の踊り

演奏会や募金活動を通して、東日本大震災の被災者支援を行いました。

演奏会や募金活動を通して、東日本大震災の被災者支援を行いました。



【被災児童を励ます会】
お礼に花束をいただきました

【チャリティコンサート】
東日本大震災の被災者を支援しようと、千葉市内の私立高校3校の吹奏楽部が5月4日(水)～6日(金)までの3日間、JR千葉駅前チャリティコンサートを開きました。

4日の敬愛学園高校、5日の千葉経済大学附属高校に続き、最終日には本校吹奏楽部が演奏しました。吹奏楽部34名がデイズ・ニーメドレーなど8曲を演奏し、多くの方が足を止めて聴いてくださいました。

吹奏楽部部長の星真梨奈さんは「たくさんの方たちが足を止め、楽しそうに私たちの演奏を聴いてくださったので、私たちも楽しむことができました。」

ボランティア部が復興支援の募金を呼びかけました。多くの子どもたちや保護者からたくさん集まりました。なかには家からもってきた1円や5円がたくさん入ったペットボトルをそのまま募金する子どももいました。ご協力ありがとうございました。



【チャリティコンサート】
たくさん善意が集まりました



【チャリティコンサート】
いま私たちにできることを精一杯やりました

ことができました。」と満足そうでした。演奏会場付近には、生徒会役員の生徒が募金箱をもって立ち、募金の呼びかけをしました。小さな子どもたちから、お年寄りまで多くの方が募金に協力してくださいました。3日間を通して集まった義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送りました。



「運動会」ピラミッド

造形教室が大人気!

震災の傷跡を残しながらも、
楽しく行事を実施しています。



「造形教室」全員で仕上げる壁画



ボディペインティング

植草学園大学
附属美浜幼稚園
より

今年度から、専任の講師による「造形教室」が正課の活動として始まりました。週1回の予定で年長さんから始めましたが、年長さんの活動が多くなる後半からは年中さんになります。粘土のおもしろみを体感しながら好きなものを作ったり、大きな絵をクラス全員で描き上げたり、スコップを使い砂場で山や川を作ったり水を流したりと、子どもたちは大喜び。「造形教室」の時間を楽しみにしています。毎年行っているボディペインティングにも成果が表れ、手足にはアイディアいっぱいの表現が見られました。

さて、震災後の工事中に始まった23年度ですが、玄関が使えず、あちこちに残る段差に注意しながらのスタートでした。5月に入ってもガス漏れが見えられ、段差がより大きくなって水たまりが深くなるなど、傷跡は残っています。子どもたちは元気いっぱい。猛暑の中で心配された熱中症にもかかわらず、部屋には子どもたちの歌声が響き渡り、園庭では水遊びや泥遊びをする子どもたちの歓声が湧き上がっていました。状況を理解し、何事にも前向きに取り組んでくださる保護者の協力のおかげで、予定していた行事は例年通り

実施できています。運動会は終わりましたが、これからも羊堀り遠足やマラソンなど、子どもたちが楽しみにしている行事がたくさんありますので、準備をしっかりとって実施していきたいと思っています。

また、2年目を迎えた長時間預かり保育は、現在利用者は多くはありませんが、利用条件を満たした方の日時の範囲内での利用者は増えています。来年度に向けての問い合わせや相談も増えていますので、個々の状況をしっかりと把握し、柔軟に対応していきたいと考えています。

◎平成22年度決算の概要

1. 資金収支計算書

学生生徒納付金収入において、予算との差異が1490万となりましたが、開学3年目を迎えた大学が前年より2億5900万円の増収、短大が前年より5900万円の増収となり、学園全体で3億2200万円の増収となっています。補助金収入は、前年より1800万円増の3億5600万円で決算しましたが、経常費以外では、短大部門で獲得した就業力育成G P 2000万円、学生支援推進事業1200万円が大きな割合を占めました。事業収入は、予算より1200万円少ない結果となりましたが、前年より2400万円増収でした。増収となった事業として、保育所収入、受託事業収入（主に短大職業訓練生受入事業、幼稚園の子育て支援の職員配置事業）、給食費収入が挙げられます。次年度の収入となる前受金収入が、予算より900万円の増となりましたが、前年度との比較では3800万円の減収となりました。また、雑収入が予算より4400万円多くなりましたが、これは平成22年度の退職金財団収入が多かったためです。

人件費支出のうち4200万円は退職金支出ですが、予算との差異が600万円の13億6300万円で決算しました。前年度と比較すると、教員人件費は2000万円の減、職員人件費が4900万円の増、退職金が200万円の増となり、全体では3100万円の支出増でした。教員人件費の減少、職員人件費の増加は、主に高校教員の退職や事務局への異動によるものです。教育研究経費は3億4800万円でした。1000万円ほど予算を超過し、前年度より3900万円の増加となりました。管理経費支出は400万円の予算超過でしたが、前年度より300万円少ない1億1900万円で決算しました。設備関係支出のうち、970万円は短大のG P 関連支出です。資産運用支出に900万円計上されましたが、これは保育園の積立預金への繰入支出です。内訳は、人件費積立に100万円、修繕費積立に200万円、備品等購入積立に100万円、施設・設備整備積立に500万円となっています。

2. 消費収支計算書

帰属収入の合計は18億4600万円となり、予算より8800万円、前年度より3億5900万円の増収となりました。これは、寄付金と資産運用収入は若干減少しましたが、学生生徒納付金、補助金、事業収入の増収によります。基本金は第4号基本金1000万円を含む3900万が組み込まれ、消費収入の部の合計は18億700万円となりました。消費支出の合計は21億1700万円となり、消費支出超過額は3億1100万円でした。また、前年度からの繰越消費支出超過額と基本金取崩額を合わせて、翌年度消費支出超過額は22億9100万円となりました。なお、基本金取崩額は、旧幼児教育専門学校と高校に計上されていた固定資産の除却により生じたものです。

◎平成23年度障害者雇用優良事業所 理事長努力賞を授賞

このたび、植草学園は、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構から「平成23年度障害者雇用優良事業所 理事長努力賞」を授賞しました。この賞は、障害者の雇用の促進と、職業の安定に貢献した団体や事業所等に対して贈られるものです。

平成23年9月24日に、長沖吉道 千葉高齢・障害者雇用支援センター長が来校し、同氏から表彰状および記念品が授与されました。

3. 貸借対照表

有形固定資産の減額2億2500万円は、建物や備品の減価償却額及び除却額です。その他の固定資産が700万円増となりましたが、これは保育園の積立預金900万円と高校の英検ソフト利用料の長期前払金、植草こう教育特別資金の奨学基金貸付金、短大の下水に係る施設利用権の今年度の除却分を計上したものです。流動資産の現金預金は、前年度より8000万円減りました。また、固定負債3700万円は、全額退職給与引当金であり、流動負債5億600万円の内訳は、未払金6700万円、前受金3億6800万円、預り金7100万円となっています。基本金は、第1号が1800万円増の104億2800万円、第4号が1000万円増の1億4100万円となり、全体では106億1900万円となりました。

1. 資金収支計算書 (単位：千円)

科目	22年度
学生生徒等納付金収入	1,242,407
手数料収入	27,780
寄付金収入	6,249
補助金収入	356,444
資産運用収入	8,194
事業収入	151,909
雑収入	50,047
前受金収入	366,258
その他の収入	831,179
資金収入調整勘定	△462,022
前年度繰越支払資金	952,221
収入の部合計	3,530,666

人件費支出	1,363,404
教育研究費支出	348,422
管理経費支出	118,749
施設関係支出	11,867
設備関係支出	35,476
資産運用支出	9,000
その他の支出	838,816
資金支出調整勘定	△67,523
次年度繰越支払資金	872,455
支出の部合計	3,530,666

3. 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部	科目	22年度
資産の部	固定資産	7,786,708
	流動資産	1,084,084
合 計		8,870,793

2. 消費収支計算書 (単位：千円)

科目	22年度
学生生徒等納付金	1,242,407
手数料	27,780
寄付金	8,867
補助金	356,444
資産運用収入	8,194
事業収入	151,909
雑収入	50,047
帰属収入合計	1,845,649
基本金組入額合計	△38,702
消費収入の部合計	1,806,947

人件費	1,371,765
教育研究費経費	595,446
管理経費	146,545
資産処分差額	161
徴収不能額	3,531
消費支出の部合計	2,117,447

当年度 消費支出超過額	310,500
前年度繰越 消費支出超過額	1,990,928
基本金取崩額	10,396
翌年度繰越 消費支出超過額	2,291,032

(単位：千円)

負債の部・基本金の部・消費収支差額の部		22年度
負債の部	固定資産	36,684
	流動資産	506,363
合 計		543,047
基本金の部		10,618,778
消費収支差額の部		△2,291,032
合 計		8,870,793



写真左：千葉高齢・障害者雇用支援センター長 長沖 吉道氏
写真右：植草学園事務局長 植草 和典

入園申し込み前の見学者来園

11月4日から平成24年度の入園希望申し込みが始まりました。入園を希望する方は、4月に育休を明け仕事に復帰する方がほとんどです。初めて自分の手からわが子を他人に託して仕事に出る母親たちは、保育園の生活の様子を一つひとつ確認するように説明を聞いたりと、質問をしたりと親身な思いが伝わってきます。0・1歳児の母親が多いので、離乳食のことやトイレトレーニングのこと、2階にある保育園なので、どこで遊ぶのかなど話題がよく出ます。「砂遊びを経験させたので園庭があつて楽しそう」「保育士さんが歌いながらおもむき交換をされていて、やさしい雰囲気を感じた」「室内が清潔で明るく広々して気持ちがいい」などいろいろな声がかかります。一つの建物の中に幼稚園と保育園が共存していることに関心をもつ方も多いので、3歳以上児が参加するいろいろな行事の様子なども話し、さまざまな情報提供を丁寧にするので保育園が果たす役割を伝えています。

幼稚園との合同運動会を体験した4・5歳児

幼稚園との合同運動会は2年目です。少人数では経験しにくい、集団での活動が子ども自身の成長をはぐくむと考え、昨年より仲間入りをしました。今年は4・5歳児(各5名在園)の参加です。5人の仲間が体を寄せ合いながら練習に向かう4歳児は、「これからどんなことが始まるんだろう」という期待

来年度の入園希望者が来園。幼稚園との合同運動会では、心にさまざまな想いを残して。



4歳児が踊った「アロハ・エ・コモマイ」
「今度は年長さんに教えてあげるネ」



「くみ体操」
「おともだちとギュッと手をつないだよ」

植草弁天保育園より

に加えて、ちよつびりの不安を感じているような後ろ姿が印象的でした。年長児は、「なんだか楽しみさ〜ドキドキしちゃう〜」と言いつつながら期待を膨らませて出かけていきました。保育士がついて行くのは、幼稚園のドアまでで、子どもだけで多勢の仲間の中に堂々と入っていく姿を、ソツと見届ける保育士のほうがハラハラする思いでした。一つの競技や踊りをみんなでもやる楽しさ、自分のもっている力を出しきった時の満足感や悔しさなど、一人ひとりの心に残った想いを大事に育てていきたいと思っています。

植草学園短期大学より

文部科学省 就業力G P 大学生の就業力 育成事業採択

専門性をコアとした就業継続力の育成

植草学園短期大学は平成22年に文部科学省の「大学生の就業力育成事業」に応募し採択されました。この事業の背景には厳しい雇用情勢の中、新卒学生の就業率の向上、学生の能力に対する社会からの要請や、卒業後の職業生活への移行支援の必要性が高まっていることがあげられます。

植草学園短期大学では、福祉学科地域介護福祉・児童障害福祉の両専攻ともほぼ100%の就職率を維持していますが、他職種と同様、就業3年未満の離職が多く、専門職としてのキャリアアップの支援が必要だと考えていました。

そこで、在学中のみならず卒業後も引き続きキャリア支援を行うこととし、この取組名称を「専門性をコアとした就業継続力の育成」としました。取組みは下記の9つを柱としています。

2年目を迎え、それぞれの取組みが実際に動いています。図書館にはコミュニケーション機器がそろい、学生による説明が行われています。また、本学および他大学の卒業生によって「いろいろな仕事を知らそう」私のキ



「キャリア形成」をテーマにしたシンポジウムが行われ、在学生にキャリアについて考える機会を与えてくれました。キャリアアドバイザーによる平成23年3月卒業生の職場訪問や卒業後の面接相談も行われました。取組みの成果は着々と上がってきていると思われまます。これからも専門職として働き続けられるように支援していきます。

GP

専門性をコアとした就業継続力の育成 取組みの9つの柱

- 1 専門科目における実践力の強化
- 2 キャリア支援科目の必修化
- 3 講演会・シンポジウムの開催
- 4 講習会の開催と多大学生との交流
- 5 キャリアアドバイザーによるキャリア形成支援
- 6 卒業生の実態調査
- 7 学園キャリアネットの設置
- 8 学内情報共有システムの安全基盤の設備・改変
- 9 各事業と全体の評価

作曲家別名曲解説ライブラリー モーツァルトI・II

川端 眞由美 共著

音楽之友社、I: 2011年、4100円+税、II: 2009年、5200円+税

「子ども達に音楽の本質を伝える手引書」

発達教育学部の音楽の授業に、川端眞由美先生（発達教育学部 発達支援教育学科 教授）の「音楽学」があります。将来、幼児・児童に音楽を指導する立場の人は、音楽の楽しさ、素晴らしさを子どもたちに伝授する役割を担います。そのために、「音楽って何でしょう」、「音楽は何のためにあるのでしょうか」をメインテーマとした授業を行っています。音楽学関連の授業は、全国の教員養成課程のある国公立大学では音楽学専任教員が担当してきましたが、千葉県の場合は遅れをとってしまいました。

そこで、本学の学生のみなさんは「音楽学」の授業をぜひ受講してください。その手引書として、今回はモーツァルト

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科
教授 川端 眞由美



に焦点を絞り、ここ数年に出版または再版された川端眞由美先生の著書等の一部を紹介しします。

『モーツァルトI・II作曲家別名曲解説ライブラリー』（共著）（2011年・2009年、音楽之友社）、『モーツァルトを歌うためのベルカント唱法』（英訳）（2010年、シンフォニア）、『ピアノと管弦楽のための協奏曲 KV488・KV491・KV503』（独訳）（2009年・2010年・1999年、音楽之友社）、『モーツァルティアーナ』（論文集）（2001年、東京書籍）、『最新 名曲解説全集 I・IV・IX・XI巻』（図書館協会推薦図書）（共著）（2002年、音楽之友社）。また、前任大学で所属していた「モーツァルト研究所」での長年の成果が評価されて、「第2回音楽之友社賞」を受賞した著書も含まれています。

読んで知識を深めよう /
先生の【著書紹介】

漢字の今昔

植草学園大学 副学長
浦野 俊則

【足】

図aは、「子」を抱きかかえています。腰を曲げたところから下は足です。一番下の部分は、足の指（ゆび）からかかとまでを書いてあります。指（ゆび）が三本しか書いてありませんが、このように書くのが普通です。

甲骨文字の中に、膝（ひざ）から下を書いた図b cがあります。「足」と読まれています。この形から今の「足」の字ができます。「足」の字の口を書くところは、膝の部分のように見えます。図dは、西周時代中期の金文です。今の「足」の字にかなり近い形になっています。

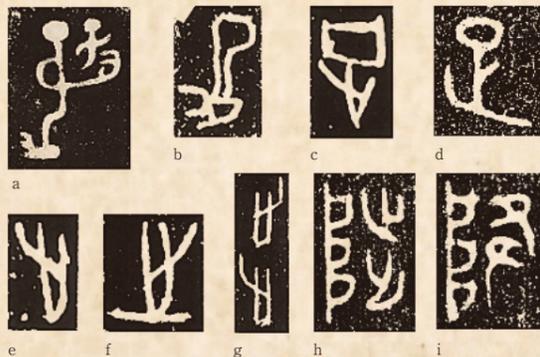
図e fは、足の指からかかとまで（あるいは足跡の形）を書いた甲骨文字です。図fには、かか

との部分に横線が書いてあります。eとfの形は、はっきりとは区別せずに「これ（是）」または「この（此）」の字として使われています。この字から今の「之」と「止」の字ができました。どちらも同じ形からできて、音も同じく「シ」です。ところが、のちに、「之」は「ゆく（往・行）」の意味に、「止」は「とまる（停止）」の意味に使うようになりました。このことは、六書（りくしょ）でいうところの「転注」だと考えています。

図gは、足跡の形を二つ書いてあります。これは甲骨文字ですが、今の「歩」字の古い形で、これで一歩二歩と前へ進む、歩くことを表しています。

図hは、β（ごごとへん）に「歩」を書いた金文です。ごごとへんは、階段の形からできました。したがって、この字は、「陟」字で、「のぼる」意味です。

図iも金文ですが、これは、足が下方に向いています。この字は、「降」字で、「くだる」意味です。



今、「のぼる」という場合、「登る」「上る」「昇る」などと書きます。「陟」字は、見かけなくなりました。「登」字の「豆」の上にある部分は、「はつがしら」といいます。「はつがしら」は、足跡を二つ横に並べて書いた形からできたものです。横に並べているのは、階段をのぼる際の足の運び方が違うところから来ているようです。「上る」は、上下の意味から発展させて用いたものでしょう。「昇る」は、太陽や月、あるいは気体が上昇するような場面で用いる文字で、足とは関係なくできた文字です。

＊最新情報発信中！

www.upekusa.ac.jp

検索

基礎・基本を大切に、学び続けて

私の教育相談のスタートは1961年、千葉県が大きく変化し、それによる生活のひずみに敏感な子どもたちが、生活の難しさを「不登校」という形で表し始めた頃でした。それ以来今日まで、減らない不登校の子どもたち、悩む親・教師へのサポートを続けています。教師のための夜の月例学習会は今月で300回になります。

そもそも県教育委員会の採用面接で、「千葉県に理想的な特殊学級を創りたい」と夢を語り、それが受容されたのが幸運な私の仕事人生の始まりでした。この道の先駆者 大野桂先生に導かれ、20代は特殊学級の普及、入級判定、学級開設のフオーローに忙しくも充実した日々でした。

最近、紙芝居の舞台を特注で作りました。学生時代に敗戦後の焼け跡の子もたちを訪ね、人形劇、紙芝居、お話をしました。児童文化研究会で技を磨き合い、人形劇は公会堂で、紙芝居は各地の公園で、担当の母子寮へは毎週欠かさず4年間通いました。教育に携わり50数年、これからも夢を追います。



写真：相談支援室にて

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科 教授
植草学園大学相談支援センター長
大木 みわ

臨床での経験を活かして：



植草学園大学 保健医療学部
理学療法学科
助手 磯 珠江

平成23年4月1日より保健医療学部理学療法学科助手に就任しました磯珠江です。私は平成16年に理学療法士免許を取得し、急性期・回復期・維持期の理学療法業務を経験してきました。

本学では主に専門科目の実習補助を行っています。実技練習に立ち会って、評価・治療を行う上で大切だと感じる事は、疾患別に特徴を踏まえて行えるかどうかです。学生にとっては初めて学ぶ患者像でも、より現実的に捉え、考えながら技術を身に付ける練習を積み重ねることができるように、日々努力して行きます。

また、私たち助手の部屋は実習室に隣接したところでも開けた所にあります。毎日多くの学生と顔を合わせ、充実した日々を過ごしています。みなさんには、理学療法関係のことはもちろん、その他どんな些細な事でも構わないので、話をしに来てもらえたら嬉しいのです。最後に、私は現在、訪問看護ステーションでの理学療法業務に携わっています。千葉県にも随書を抱えながら自宅で生活をする方、介護をする方がたくさんいて、リハビリテーションを必要としています。今後本学に進学を考えているみなさん、本学で学び、将来は一緒にリハビリテーション分野で活動しましょう。

教授・講師陣 紹介

拡大する介護福祉士の役割

近年社会から期待される介護福祉士の役割（業務内容）は拡大してきています。養成校での学習内容や時間数も増え、学生は多くの知識・技術を2年間で（専攻科は1年間）学んでいきます。中でも数年前から、医療職にだけに認められていた医療行為の中で、条件付きで介護福祉士にも認められたものもあります。そのような社会の動きに対応しながら、介護福祉士をめざす学生が、知識・技術を身につけていけるように授業方法の共同研究等を行っています。

ところで、私のゼミでは、学生たちが自ら興味のある介護に関連したテーマを焦点化して卒業研究に取り組んでいます。そのベースは学生によってさまざまです。また、就職の場も多くのの中から選択できることに恵まれ、就職活動も介護福祉士の資格を生かし、納得ができる職場を探求して挑戦しています。そのような学生をいつも応援しています。



写真：吸引モデル

植草学園短期大学 福祉学科
地域介護福祉専攻
准教授 井口 ひとみ

温かいクラスをつくりましょう



植草学園短期大学
福祉学科
児童障害福祉専攻
教授 漆澤 恭子

私の担当する障害に関する授業では、障害のあるAさんのクラスという設定でミニ授業に取り組んでいます。障害の特性を知りどんな支援をしたらいいかを学ぶだけでなく、学級の子もたちにはどう話したらいいか。常にその子とクラスの両方を視野に入れて授業を組み立てるようにしています。それは、一人ひとりの違いを受け入れ一人ひとりを尊重しあえるクラスづくりにつながります。

落ち着きがなく先生の話を聞いてもらえないAちゃんに、クラスの子も役の学生から「Aちゃん一緒にやろう」と声がかかります。それでものってこないAさんに、子ども役の学生たちは「今はそっとしてあげようよ」「気になることがあるのかも」と相談しはじめます。先生役の学生は作業の手順を書いた絵カードをそっとAちゃんの机の上に置いてあげます。Aさんは絵カードと友だちのやるのを見ながらだんだん作業に加わることができました。こういう関わりを見るたびに学生たちの「その子の気もちに添おうとする温かい気もち」に私は嬉しくなります。

毎年そんな気もちとスキルをもった保育士や、先生たちが植草学園から巣立っていきます。みなさんと一緒に学べることを楽しみに待っています。

◎植草学園教育研究振興資金 寄付者ご芳名簿 (平成23年3月11日～平成23年9月30日) 順不同

Table listing donors and their names, organized in four columns.

Main table listing donor names in multiple columns, including names like 島田 高好 様, 川端 好美 様, etc.

「植草学園教育研究振興資金」にたくさんの寄付をいただき、誠にありがとうございました。平成22年度は寄付件数126件で寄付総額が3,227,500円となりました。

Table showing financial details: 寄付金の指定用途, 平成22年度寄付金額, 23年度の事業予定.



U-heart 7号をみなさまにお届けすることになりました。6号の発刊時点で東日本大地震が発生し、甚大な被害を受けました。

そこで7号はボランティア活動報告と共に、専門性を身につけるために必要な実習に焦点をあてました。

U-heart 編集委員会 副委員長 植草学園短期大学 福祉学科 地域介護福祉専攻 准教授 今井 訓子



U-heart Vol.07 2011 November

Staff U-heart 編集委員会 編集委員長 長谷川修治 副委員長 今井訓子 編集委員 村上仁之/高倉誠一 久保裕紀/柴田浩代

～ 学生生活の紹介！～ UEKUSA LIFE

私は、幼稚園の先生になる夢を叶えるために植草学園短期大学に入学しました。障害について学べる点にとっても魅力を感じたからです。

この2年間でたくさんの実習を行いました。実習を終えるごとに、夢に近づいている実感と、子どもが好きということを改めて強く感じています。

幼稚園での教育実習では、幼稚園と小学校の繋がりについて学ぶ必要があると思いました。そこで、短大を卒業後は、大学の発達教育学部でさらに勉強を続け、小学校教諭一種免許・特別支援学校教諭一種免許を取得したいと思っています。

あと2年間、たくさんのことを学び、経験を重ね、笑顔の絶えない教育者になれるように頑張っていきます。



今回の学生 依田 菜さん

植草学園短期大学 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 千葉県私立八千代松陰高等学校出身

1年前期時間割 (1st Semester) table with columns for days of the week and time slots.

1年後期時間割 (2nd Semester) table with columns for days of the week and time slots.

2年前期時間割 (3rd Semester) table with columns for days of the week and time slots.

2年後期時間割 (4th Semester) table with columns for days of the week and time slots.



♡授業で作ったおもちゃ♡ 実習先で子どもたちに大人気です!





*** スカラシップ制度 * 大学 発達教育学部・保健医療学部**

勉強したい! 植草学園大学で夢をかなえたい! を応援します!

植草学園大学には入学試験の成績優秀者に対し、入学金を全額免除する制度があります。

一般入試A日程・大学入試センター試験利用入試A日程における成績優秀者(合格者の成績上位10%の者)に対し、入学金を全額免除します。

対象者

- 1 一般入試A日程の受験者
- 2 大学入試センター試験利用入試A日程の受験者
- 3 AO入試・推薦(指定校制・公募制)入試で合格し、手続を完了した者で、①または②の試験を再度受験することによってスカラシップ制度にチャレンジする者

対象	出題	選考方法
<ul style="list-style-type: none"> ①一般入試A日程受験者 ②センター利用A日程受験者 	出願した全ての受験者が自動的にスカラシップ制度の対象です 一般入試・センター利用入試用の出願書類を提出 【入学検定料】●一般A日程 35,000円 ●センター利用A日程 10,000円	<ul style="list-style-type: none"> ●一般入試A日程: 指定教科の試験・面接 ●センター利用A日程: 指定教科・科目の成績のみ
<ul style="list-style-type: none"> ③AO入試・推薦入試の合格者(手続完了者)でスカラシップ制度受験者 	再度 志願票を取り寄せて提出 ※志願票の所定欄に既に合格した際の受験番号を記入 ※志願理由書・調査書は不要 入学検定料(受験料) 不要	<ul style="list-style-type: none"> ●一般入試A日程: 指定教科の試験のみ ※面接は行いません 面接は既に受験したAO入試・推薦入試時の評価で判定します ●センター利用A日程: 指定教科・科目の成績のみ



●スカラシップ制度合格者には「スカラシップ制度合格」と記載した選考結果通知(合格通知)を郵送します。
 ※授業料減免ではありませんので、スカラシップ制度合格者も授業料は通常の金額を納付することになります。

平成24年度入学試験日程

一般入試 [大学・短大]

A日程	出願手続期間: H24 / 1 / 17 火 ~ 1 / 27 金
	試験日: 2 / 3 金
	選考結果通知: 2 / 7 火
	入学手続期間: 2 / 7 火 ~ 2 / 14 火
B日程	出願手続期間: H24 / 2 / 20 月 ~ 2 / 29 水
	試験日: 3 / 3 土
	選考結果通知: 3 / 5 月
	入学手続期間: 3 / 5 月 ~ 3 / 12 月

大学入試センター試験利用入試 [大学のみ]

A日程	出願手続期間: H24 / 1 / 5 木 ~ 1 / 13 金
	試験日: 大学入試センター試験日
	選考結果通知: 2 / 10 金
	入学手続期間: 2 / 10 金 ~ 2 / 17 金
B日程	出願手続期間: H24 / 2 / 20 月 ~ 2 / 29 水
	試験日: 大学入試センター試験日
	選考結果通知: 3 / 5 月
	入学手続期間: 3 / 5 月 ~ 3 / 12 月

選考方法

大学	発達教育学部	国語(古文・漢文を除く)・面接(10分)
	保健医療学部	国語(古文・漢文を除く)、数学(数学I・数学A)、理科(化学I、生物I)、英語(英語I・英語II)から2教科2科目・面接(10分) ※受験する教科・科目は出願時に選択
短大	地域介護福祉専攻	面接(10分)・国語(古文・漢文を除く)
	児童障害福祉専攻	面接(10分)・国語(古文・漢文を除く)

選考方法

大学	発達教育学部	●国語(近代以降の文章) ●地理歴史(「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」)、公民(「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」)、数学(「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関連基礎」)、理科(「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」)、外国語(「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」)から1科目 ※英語リスニングなし ※本学における個別試験は課さない ※地理歴史、公民、数学、理科、外国語について2科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用
大学	保健医療学部	国語(近代以降の文章)、数学(「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関連基礎」)、理科(「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」)、外国語(「英語」「ドイツ語」「フランス語」)から2教科・2科目 ※英語リスニングなし ※本学における個別試験は課さない ※数学、理科、外国語について2科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用

*一般入試と大学入試センター試験利用入試の両方を受験することができます。
 詳細は入学試験要項でご確認ください。

平成24年度大学入試センター試験利用入試の入学検定料(受験料)値下げ

昨年度まで23,000円だった入学検定料を、平成24年度入試より10,000円に値下げしました。

東北地方太平洋沖地震による被災に伴う入学検定料並びに授業料等減免の特別措置について

東日本大震災にて被災された受験生並びにご家族のみなさまに、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたしております。
 植草学園大学・短期大学では、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による災害により、災害救助法が適用された地域に居住し、被災された世帯の受験生に対する学費等納付金の減免措置を行います。

- 【入学検定料(受験料)の免除】**
 平成24年度入試の受験生を対象に、罹災証明書等の提出をもって、入学検定料を全額免除します。
- 【入学金・授業料等の免除】**
 平成24年度の本学入学者を対象に、罹災証明書等に記載の罹災状況に応じ、入学金・授業料等を全額または2分の1の額を免除します。
- *詳細については、入試・広報室までお問い合わせください。

●お問い合わせ・ご相談はお気軽に



学校法人 植草学園 ●入試・広報室 Tel. 043-239-2600 (直通) 詳しくは
 〒264-0007 千葉市若葉区小倉町1639番3 Tel. 043-233-9031(代) Fax. 043-233-9088 URL. <http://www.uekusa.ac.jp>

携帯サイトへGO!

